



診察室の午後

白浜はまゆう病院
泌尿器科部長 川嶋 秀紀

2月の下旬、白浜に向かう途中の阪和自動車道で、気が付くと道の両側、辺り一面、梅の花が満開であった。普段何げなく通っていた所が広大な梅畑だったのだ。なだらかな山裾に美しい梅畑が広がり、通ったト

ンネルの名前も「梅の郷トンネル」であった。素晴らしい風景で、わくわくした気持ちになった。

20年くらい前の話になるが、私は30代後半の4年間、米国に留学し、家族と共にテキサス州ヒューストンで過ごした。私たちは、ユダヤ

族の青年が、私に30代後半の4年間、米国に留学し、家族と共にテキサス州ヒューストンで過ごした。私たちは、ユダヤ

族の青年が、私に30代後半の4年間、米国に留学し、家族と共にテキサス州ヒューストンで過ごした。私たちは、ユダヤ

〈3〉ブルーボネットのお花見

ヤ系のアメリカ人が多く居住している閑静な住宅地に、古い小さな平屋の家を借りて住んでいた。家の前

後には芝生の庭があり、通りには大きな並木が続いていた。隣家との境は板塀で、何となく懐かしい風景であった。

ヒューストンはアメリカ合衆国の中では南に位置し、冬は温暖だが、夏はとて暑く、どこに行っても

も寒いくらいに冷房が効いていた。2月にはツツジが咲き、4月下旬には多くの家やマンションにあるプールで泳げるほどである。季節の変わり目には強い雷雨もあるが、晴れると日差しは強く空はとても青い。

春になると、テキサス州の州花であるブルーボネットのお花見によく行った。

ブルーボネットは丈は高くなく、草地や道端に生え、ヒヤシンスのよつにたくさんの小さな花が房になった青い花を春に咲かせる。

ヒューストンと州都オーステインの間のフリーウェイから少し北に行った所に、チャペルヒルという村

がある。小さな銀行や古いレストランなど、まさに西部劇に出てきそうな建物が並んでいた。町並みはすぐに途切れ、周りには緑豊かな美しい農場が広がっている。4月には、一面に青いじゅうたんを敷き詰めたようにブルーボネットの花が咲く。日本で言えば、レンゲの花のじゅうたんといったところだろうか。

家族でブルーボネットのお花見に行って、青いじゅうたんの中で撮った写真がある。このころの思い出は色彩が強く鮮明で、何となく透明感がある。日本の、華やかで幻想的で情緒のある桜のお花見と比べると、もないが、春が来ると、不思議とテキサスでのブルーボネットのお花見が懐かしく思い出される。